

2018年度 環境保全報告書

1、温室効果ガスの抑制に関する実施状況

当社では、環境マネジメントシステムISO14001を運用しており、電気及び天然ガス(蒸気ボイラー)使用量削減を主に省エネルギーの推進、土壌汚染の防止、環境に配慮した製品の開発、環境影響物質の管理に努めています。

CO2排出量は2018年の実績で「神戸工場内のCO2発生量を2005年度比13%削減する。」とした目標値に対し78.68%(21.31%削減)と目標を達成しています。

本年度も2018年度と同様に目標が達成できるよう、努力と新たな工夫を実行していきます。

前年度(2018年度)における神戸工場内のCO2発生量

電気	使用量×CO2排出係数 = 331,316 kwh × 0.356kg/kwh = 117,948 kg
都市ガス	使用量×単位発生量×CO2排出係数 = 49,981 m3 × 45MJ/m3 × 0.0513kg/MJ = 115,381 kg
燃料油(A重油)	使用量×単位発生量×CO2排出係数 = 5,430 L × 39.1MJ/L × 0.0693kg/MJ = 14,713 kg
合計	248,043 kg
基準年度比	78.68 %

基準年度(2005年度)における神戸工場内のCO2発生量

電気	平均使用量×CO2排出係数 = 366,050 kwh × 0.356kg/kwh = 130,314 kg
都市ガス	平均使用量×単位発生量×CO2排出係数 = 60,823 m3 × 45MJ/m3 × 0.0513kg/MJ = 140,410 kg
燃料油(B重油)	平均使用量×単位発生量×CO2排出係数 = 15,630 × 40.4MJ/L × 0.0705kg/MJ = 44,517 kg
合計	315,241 kg

2、2018年度 重点取組目標・計画の実施状況

	分野	目標	達成状況	実施状況
1	環境マネジメントシステムの維持改善	ISO14001 認証継続	認証継続	2019年2月に外部機関の更新審査を受け、認証継続達成
2	温室効果ガスの抑制	神戸工場内のCO2発生量を2005年度比13%削減する。	78.68% 達成	省エネルギーの推進に向けた各施策を実施した
2	省エネルギーの推進	神戸工場における電気使用量を2005年度比13%削減する。	90.51% 未達成	不要な照明の消灯を徹底した 省エネ型照明に取替した センサーライトを導入した 空調の温度管理を徹底した インバーターを導入した
		神戸工場におけるガス使用量を2005年度比13%削減する。	82.17% 達成	蒸気加熱設備におけるスチームトラップ、保温材等の管理を徹底した 運転温度の適正管理を徹底した 蒸気配管の系統見直し、及びバルブ数の増加により不要な加熱箇所を減らした
3	土壌汚染防止	油漏洩による土壌汚染を発生させない	土壌汚染 ゼロ達成	油取扱管理手順書を遵守した作業を徹底した 液面警報を増設した 緊急事態対応訓練を実施した
4	廃油・廃棄物の適正処理・減量	廃棄物を適正に処理し、リサイクル可能品については分別を徹底する	実施中	廃油・廃棄物の分別方法を手順書で詳細に明確化、遵守を徹底し廃棄物発生量を減少させた
			実施中	ダンボール、古新聞等 近隣町内会の廃品回収へ協力した
5	環境に配慮した製品の開発	環境に配慮した製品を開発する	2製品開発	環境に配慮した2製品を開発した
		購入品のグリーン調達を実施する	実施中	購入品のグリーン調達を実施した
6	環境影響物質の管理	環境物質の数量管理を実施する	実施中	取り扱った数量を管理した
7	自動車対策	マイカー通勤をしないようにする	実施中	社員のマイカー通勤を禁止した
		構内における車両事故を防止する	事故ゼロ 達成	構内速度10km/h以下を徹底した
8	従業員教育	全員従業員が環境教育を受講する	全員従業員 受講	教育を年2回実施した
9	地域社会への参画	地域の環境保全活動への社員参加	参加	須磨クリーン作戦、兵庫運河を美しくする会清掃活動に参加した

3、公害防止対策に係る計画の結果報告

(2018年3月1日～2019年2月28日)

①水質関係

(測定結果) 39回運転

項目	目標値	測定値	
		最小値～最大値	平均値
水素イオン濃度 (pH)	5.2～8.8	6.0～8.1	7.1
ノルマルヘキサン 抽出物含有量	5.0mg/以下	1.0以下～3.0mg/L	

②大気関係

項目	実施内容	目標達成状況	目標達成の措置・対策
大気汚染防止対策	ばい煙の排出規制の遵守	ボイラー2基の適正な維持管理と運転を行った。	ボイラー2基の適正な維持管理と運転を行った。

③騒音・振動関係

項目	実施内容	目標達成状況	目標達成の措置・対策
騒音・振動 防止対策	近隣に影響を及ぼさないよう配慮する。	製造設備による騒音・振動による苦情等の発生は無かったが、臭気に関する苦情あり。神戸市環境局の現場確認も特に異常はなし。但しフィルターの交換等出来る範囲で対策を実施。近隣への配慮に努めた。	毎日のパトロールで騒音・振動を監視した。
			新規設備の導入による騒音・振動の増加は無かった。

2019年度 環境保全計画書

1、環境保全に関する基本方針

環境基本理念

松村石油(株)神戸サイトは潤滑油のメーカーとして、大都市に立地していることを認識し、地球環境保全と地域社会に調和した事業活動を推進するために、全ての事業活動及び社員行動を通じ、常に環境の保全と向上に努める。

事業活動

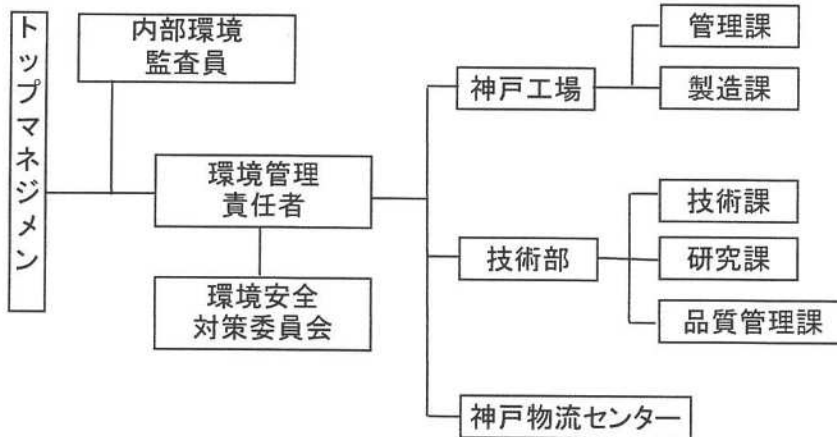
神戸サイトは『機械に合わせた油の設計』をモットーとし、熱媒体油・冷凍機油・絶縁油・特殊潤滑油の開発、製造、技術サービスを事業活動としている。

環境行動方針

- (1) 環境保全への取組みを事業活動の最重要課題の一つとして位置付ける。
- (2) 環境に関する法規、協定及び当社が同意したその他要求事項を遵守するとともに可能な場合は自主基準を設定し、維持改善に努める。
- (3) 環境への取組みを推進する為、環境安全対策委員会をはじめ全組織による環境保全の継続的改善を図る。
- (4) 環境汚染の予防に努めるとともに、目的及び目標を設定して次の環境保全活動を推進する。
 - ① 電気、ボイラー用ガスの使用量の削減に努める。
 - ② 土壌汚染の予防に努める。
 - ③ 環境に配慮した製品の開発に努める。
 - ④ 環境影響物質の管理に努める。
- (5) 地域とのコミュニケーションを図るとともに、環境方針を全従業員に周知徹底する。
- (6) トップマネジメントはこの環境方針を毎年度見直し、文書化し、実行させ維持する。
- (7) この環境方針は一般の人にも入手可能とする。

2、環境に関する組織の現況

神戸サイトの環境管理体制は次の通りとする。



3、2019年度 重点取組目標

	分野	目標	活動計画
1	環境マネジメントシステムの維持改善	ISO14001認証継続	内部監査を含めた運用と活動を継続する
2	温室効果ガスの抑制	神戸工場内のCO2発生量を2005年度比13%削減する。	省エネルギーの推進に向けた各施策を実施する
3	省エネルギーの推進	神戸工場における電気使用量を2005年度比13%削減する。	不要な照明の消灯を徹底する
			省エネ型照明に取替える
4	省エネルギーの推進	神戸工場におけるガス使用量を2005年度比13%削減する。	センサーライトを導入する
			空調の温度管理を徹底する
5	省エネルギーの推進	神戸工場におけるガス使用量を2005年度比13%削減する。	インバーターを導入する
			蒸気加熱設備におけるスチームトラップ、保温材等の管理を徹底する
6	省エネルギーの推進	神戸工場におけるガス使用量を2005年度比13%削減する。	運転温度の適正管理を徹底する
			蒸気配管の系統見直し、及びバルブ数の増加により不要な加熱箇所を減らす
7	省エネルギーの推進	神戸工場におけるガス使用量を2005年度比13%削減する。	油取扱管理手順書を遵守した作業を徹底する
			液面警報を増設する
8	省エネルギーの推進	神戸工場におけるガス使用量を2005年度比13%削減する。	緊急事態対応訓練を実施する
9	廃油・廃棄物の適正処理・減量	廃棄物を適正に処理し、リサイクル可能品については分別を徹底する	廃油・廃棄物の分別を徹底する 町内廃品回収へ協力する
10	環境に配慮した製品の開発	環境に配慮した製品を開発する	環境に配慮した製品を開発する
		購入品のグリーン調達を実施する	購入品のグリーン調達を実施する
11	環境影響物質の管理	環境物質の数量管理を実施する	取り扱った数量を管理する
12	自動車対策	マイカー通勤をしないようにする	社員のマイカー通勤を原則禁止する
		構内における車輛事故を防止する	構内速度10km/h以下を徹底する
13	従業員教育	全員従業員が環境教育を受講する	教育を実施する
14	地域社会への参画	地域の環境保全活動への社員参加	各種清掃活動へ参加する

前年度(2018年度)における神戸工場内のCO2発生量

電気	使用量 × CO2排出係数	
	=	331,316 kwh × 0.356kg/kwh
都市ガス	使用量 × 単位発生量 × CO2排出係数	
	=	49,981 m3 × 45MJ/m3 × 0.0513kg/MJ
燃料油(A重油)※	使用量 × 単位発生量 × CO2排出係数	
	=	5,430 L × 39.1MJ/L × 0.0693kg/MJ
合計		248,043 kg
基準年度比		78.68 %

基準年度(2005年度)における神戸工場内のCO2発生量

電気	平均使用量 × CO2排出係数	
	=	366,050 kwh × 0.356kg/kwh
都市ガス	平均使用量 × 単位発生量 × CO2排出係数	
	=	60,823 kwh × 0.356kg/kwh
燃料油(B重油)	合計使用量 × 単位発生量 × CO2排出係数 / 5(年)	
	=	15,630 L × 39.1MJ/L × 0.0693kg/MJ / 5
合計		315,241 kg

4、公害防止対策に係る計画

①大気汚染防止対策

- 「大気汚染防止法」及び「兵庫県環境の保全と創造に関する条例」等の法令を遵守する。
- ガス焚小型ボイラー2基の適性な維持管理と運転を行い、排出基準を遵守する。

②水質汚濁防止対策

- 「下水道法」及び「神戸市下水道条例」等の法令を遵守する。
- 除害施設の適正な維持管理を行い、排出基準を遵守する。
- 下記の頻度で施設出口で排水を採取し、目標値の遵守状況を確認する。

監視対象	測定頻度	社内目標値	法令基準
水素イオン濃度 (pH)	2回以上／運転日(社内) 1回／月(社外)	5.2～8.8	5～9
ノルマルヘキサン抽出物含有量	1回／月(社外)	5.0mg/L以下	5.0mg/L以下

③騒音・振動防止対策

- 「騒音・振動規制法」及び「兵庫県環境の保全と創造に関する条例」等の法令を遵守する。
- 近隣に影響を及ぼさないよう配慮すると共に
 - ・毎日のパトロールで騒音・振動を監視する。
 - ・新規設備を導入する場合は、騒音・振動防止に配慮する。

④産業廃棄物対策

- 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の法令を遵守し、廃棄物の適正処理を行う。
- 廃棄物の発生量を抑制すると共に、再利用を促進する。